

# 花ごよみ

2018年  
1月16日  
175号

発行  
公財) 東京動物園協会  
井の頭自然文化園

## 冬芽

落葉樹は晩秋になると葉を落とし休眠状態で冬を過ごします。春に芽吹き、活動を開始するために準備されたのが冬芽です。冬芽は、葉、花、枝になる芽が小さくまとまったもので、寒さ対策、冬の乾燥から実を守るため、樹種によって多様な進化をとげてきました。一見地味で、どれも同じように見える冬芽ですが、冬芽の構造を知ることで、冬ならではの植物の楽しみ方ができます。ぜひ、園内でじっくり観察してみてください。



春に葉と花が同時に展開する  
オオシマザクラ

## 冬芽のタイプ分け

冬芽の形状には、裸芽、鱗芽、隠芽という3つの種類があります。

冬芽は、葉になるもの、  
花が咲くものなどがあります

### 裸芽

芽鱗\*を持たない冬芽。



2枚の葉が  
向き合っている。  
葉脈が見える。

アジサイ

ムラサキシキブ

### 鱗芽

芽鱗\*を持つ芽。

芽鱗の形や数は様々。カツラのように2枚で冬芽を包んでいるものから、10枚以上の芽鱗が幾重にも重なっているものもあります。



大型の冬芽。  
芽鱗が合着した  
あとがみえる。

ユリノキ

ベニバナトチノキ

トウカエデ

コブシ

花芽は大きく  
毛に覆われて  
芽鱗がみえにくい。

### 隠芽

葉痕やその付近の枝の中にあり外からは見えない冬芽。



ネムノキ

葉痕

## 芽を観察すると・・・

- 葉芽** 展開すると葉になる冬芽
- 花芽** 展開すると花、または花序になる冬芽
- 混芽** 展開すると花と葉になる冬芽



花芽

花芽

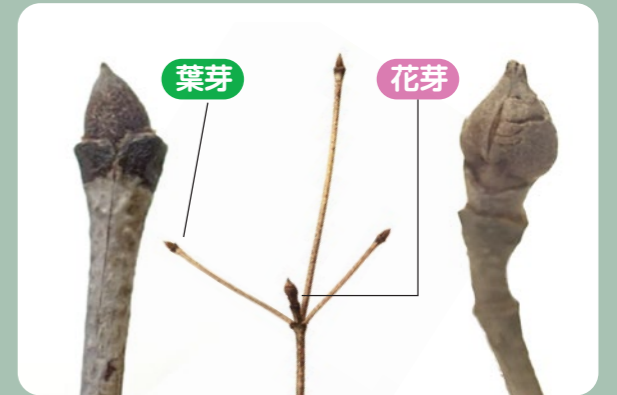


葉

花

咲き始めるところ

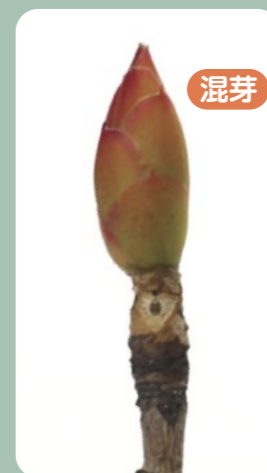
シロモジ



葉芽

花芽

ヤマボウシ



混芽



花芽

ウメ

ドウダンツツジ

\* 芽鱗……冬芽を保護するうろこ状のもの